

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年2月19日

計画の名称	岬町の公共下水道整備計画													
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）					交付対象	岬町							
計画の目標	下水道事業を行い、健康で快適な生活環境の町づくりを目指す。													
計画の成果目標（定量的指標）	下水道処理人口普及率を71.8%（H22当初）から74.7%（H26末）に増加させる。													
定量的指標の定義及び算定式	下水道処理人口普及率 ＝（下水道を利用できる人口（人）/総人口（人））										備考			
全体事業費	合計 (A+B+C)	215 168	百万円	A	172 163	百万円	B	0 0	百万円	C	43 5	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	20.0% 3.0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
岬町において定量的指標の達成状況、事業効果の発現状況などを検証し、今後の整備方針を検討することとした。評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、平成28年1月にパブリックコメントを実施し、第三者の意見を求めた。	平成28年2月
	公表の方法
	岬町のホームページ上で公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1-1	下水道	一般	岬町	直接	-	汚水	新築	1-24分区 汚水管渠整備事業	φ200, L=1,210m, 4.4ha	岬町						100	
A1-2	下水道	一般	岬町	直接	-	汚水	新築	1-22-2分区 汚水管渠整備事業	φ200, L=362m, 1.3ha	岬町						43	
A1-3	下水道	一般	岬町	直接	-	汚水	新築	1-22-3分区 汚水管渠整備事業	φ200, L=108m, 0.5ha	岬町						8	
A1-4	下水道	一般	岬町	直接	-	汚水	新築	下水道施設計画策定	施設計画策定（事業計画区域）	岬町						12	
小計（下水道事業）												163					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						-	
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
C1-1	下水道	一般	岬町	直接	-	新築	1-24分区 汚水管渠整備事業（支線）	-	岬町						0		
C1-2	下水道	一般	岬町	直接	-	新築	1-22-2分区 汚水管渠整備事業（支線）	φ200, L=43m, 0.1ha	岬町						5		
合計												5					
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C1-1	基幹事業（A1-1）で実施する汚水管渠と接続する汚水管渠（支線）を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。																
C1-2	基幹事業（A1-2）で実施する汚水管渠と接続する汚水管渠（支線）を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。																

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・良好な水環境の保全に資する事業として、計画的かつ効率的な下水道整備区域の拡大により、下水道整備区域の拡大により、下水道処理人口普及率の目標達成とともに、公共用水域の水質保全が図られた。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	74.7%	目標値と実績値 に差が出た要因	本整備計画対象事業を進めたが、人口減少などの要因により目標値を下回ることとなった。 【目標値の算出根拠】 12,923人 ÷ 17,290人 × 100 = 74.7% 【実績値の算出根拠】 12,376人 ÷ 16,661人 × 100 = 74.3%
		最終実績値	74.3%		
	指標②	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
	指標③	最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>平成22年度から平成26年度までの5年間の社会資本総合整備計画に基づく下水道事業を実施し、定量的指標（下水道処理人口普及率）は概ね達成することができた。（達成率86.2%） 今後は、本町の汚水整備状況や財政事情を鑑み、社会資本総合整備交付金を活用し、更に計画的・効率的な汚水整備による普及推進を進め、健康で快適な生活環境の町づくりを目指していく。</p> <p>※ 達成率 = (74.3%-71.8%) / (74.7%-71.8%) ⇒ <u>86.2%</u></p>					